



平成 20 年 3 月 10 日 (月)

世田谷区立二子玉川小学校 2 年生 (3 クラス)

(財) 国際青少年育成振興財団
大串 充

タイムテーブル

- 12 : 00 渋谷駅 ハチ公前に集合 (留学生 3 名と袖山さん)
13 : 00 二子玉川小学校到着、待機
13 : 35～ 各組に、留学生 3 人が別れる。
児童から留学生に歓迎の言葉、歌と踊りを披露。
留学生がマレーシアの国紹介。

1組 スハイラーさん

用意してあった手書きの大きな地図を使い、
マレーシアの場所、周辺国、気候・食べ物
を紹介。



2組 ハゼリルさん

言語 (マレー語) の紹介。
挨拶やよく使う言葉のプリントを配って、
みんなで発声しながらマレー語を教える。



3組 ロウ イエン リンさん

プロジェクターを使って、マレー語や
マレーシアの変な食べ物 (カラフルなお菓子)
を紹介。



14 : 10～ 各組ごとで、マレーシアの遊びを教える。

1組 クラス全員で輪になり、民謡を歌い、手を叩きながら 回る。日本で言う盆踊りに近いもの。



2組 “ダトウクハリマオ” という、“だるさんが転んだ”
に似た遊び。遊び方が最後まで児童に伝わらず、
後日、担任の先生が児童に教えるということになった。



3組 お手玉のような遊び。
玉は留学生が小学生に合わせた小さいものを作って
きていた。



14:30～ 児童からの質問。
少数の生徒が何回も積極的に質問していた。
14:45～ 児童からの御礼の言葉。
15:00～ 留学生は感想文を書いて終了。

担当者所感

(財) 国際青少年育成振興財団
事務局 大串

今回の留学生達は 3 人ともマレーシアでは小学校の先生をしていて、日本で日本語を学び、留学を終えたは国に帰り高校の日本語教師を目指している学生だった。ハゼリルさんは日本語がまだあまり上手でなく、2組のだるさんが転んだに似た遊びは私も後で他の留学生に説明してもらうまで分からなかった。当日は授業参観日で、遊び方を理解した児童の保護者が教室の前まで出てきて直接教えていた。また、児童達の輪に入れない児童に空いている場所に入るよう示唆するなど、積極的な保護者が目立ったことが印象的だった。